

「まわった！」

牛乳パックで作ったこまを、保育士が回して見せると、1歳児のBちゃんがさっそくこまを手に取りました。

こうするとクルクル回るよ。

アー!

ところが何回やっても思うようにこまは回りません。

ゴロン
ゴロン

こまを放り投げたくやしかるBちゃん。

アーン!

バン

Bちゃん、あわてなくていいよ。ほら、こまを持って回すといいよ。

それからしばらくすると...

マワッ!

クルクル

何回かやっているうちにコツをつかんだBちゃんの飛びきりの笑顔が返ってきました。

子どもたちひとりひとりのさまざまな思いをしっかりと受け止めていきたいと感じさせられました。

「ままごとあそび」

ままごとコーナーであそんでいた2歳児のCちゃんは、バックの中にぎっしりと積めたごちそうを見せてくれました。

ただいま!
今日ね、トクバイ(特売)やったよ。

まあ! 特売やったん? それは良かったね。

あのね、大根と人参が安かったよ。

いつも、おかあさんと一緒に買い物に行くスーパーの様子が、Cちゃんのあそぶ姿から伝わってきました。

数日後、ままごとあそびをしているとき、Cちゃんが お皿に大根をのせてにっこり!

あのね、今日は、大根が安くならなかったから、お家の大根持ってきたよ。

ありがとう! パクパク、お家の大根おいしかったよ。

家族の大根を収穫する姿が、Cちゃんのあそびを豊かにしていることを感じさせられました。

子どもたちの体験からふくらんでくるイメージを温かく見守ったり、あそびに活かしていけるよう援助していきたいと思っています。